

【出生】令和2年度
 年間出生数 : 4人
 養育医療申請児数 : 0人
 低出生体重児数 : 0人

【医療機関】
 *「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【乳幼児健康診査】 令和2年度

R2	年間実施回数	精神発達障害有所見率	保健相談要経過観察率	スクリーニング
乳児				
1歳児				
3歳児				

【未受診者対策】
 【市町村独自の取り組み】

【子育て支援サービス】
 ◆子育て支援センター：
 一般型 0ヶ所
 連携型 0ヶ所
 気になる子のフォローの場としての利用：なし
 <その他子育て支援サービス>
 ファミサポ

【個別発達相談】 令和2年度
 年間回数 : 延べ
 担当職種 :

【親の会等】
 *「発達障がい者に関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【健診事後フォロー教室】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】 指定障害児相談支援事業所 1ヶ所

【療育の利用にあたり必要な手続き】
 医師の診断書：
 診断書以外：

【自治体の実施する取り組みや研修】
 教育、療育相談。頻度：年1回(4月)未就学・就学時等の困り感や対応接し方等の対応について幼教・教員向けに講演

児童福祉法による障害児通所支援				それ以外の通所支援		
児童発達支援	医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他	
0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	

【気になる子がいた場合に紹介できる支援機関】
 主な機関名：
 【幼児教育・保育施設での独自の取り組み】
 【療育機関と保育所・園の併行利用】
 ①公立 ②認可
 ③小規模認可園 人
 ④認定こども園 人
 ⑤認可外 人 ⑥幼稚園 人

【保育所】 ※ () 内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の指定園
2ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所

【障害児保育】
 実施園数 : ヶ所
 実施人数 : 人
 <必要な手続き>
 医師の診断書：
 診断書以外：
 【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】
 【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】

【施設支援・巡回支援】
 <対象施設>
 <必要な手続き>
 <対応職種>

【自治体の実施する取り組みや研修】
 【認可外保育園の気になる子を把握する取り組み】
 <認可外保育施設の発達障害に関する研修>
 個人に任せている

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】
 毎年11月に教育就学支援委員会を実施し、就学先の検討、個別支援に係る情報共有を行っている。(対象があれば)

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

【就園・就学】

【放課後児童クラブ】 令和2年度
 補助金交付対象児童数 : 0ヶ所
 障害児受入児童数 : 0ヶ所
 「障害児受入推進事業」実施児童数 : 0ヶ所
 「障害児受入強化推進事業」実施児童数 : 0ヶ所

保健師の意見書による個別支援(訪問、電話相談等)



【障害者相談支援事業】
●委託相談事業所 (0ヶ所)
特になし

●基幹相談支援センター
設置：なし
【巡回支援専門員整備事業】
実施の予定はない

【発達障害児者及び家族等支援事業】
実施の予定はない

【児童支援・保護者支援・教師支援に向けた取り組み】

- ・ソーシャルスキルトレーニング (SST) :
必要性を感じていて、具体的な取り組みを検討している (保健保育)
現在すでに実施している (委託先名: 株式会社 美音 (隔年開催)) (福祉)
- ・ペアレント・トレーニング:
必要性を感じていて、具体的な取り組みを検討している (保健保育/福祉)
- ・ペアレントプログラム:
必要性を感じていて、具体的な取り組みを検討している (保健保育/福祉)
- ・ティーチャーズ・トレーニング:
必要性を感じていて、具体的な取り組みを検討している (保健保育)
現時点では、必要性を特に感じていない (福祉)
- ・ペアレントメンター :
必要性を感じているが、運営面 (字草、人材等) に課題がある (保健保育)
現時点では、必要性を特に感じていない (福祉)
- ・ピアサポーター (福祉のみ) :
現時点では、必要性を特に感じていない

【各機関の相互連携】
発達支援に関する行政内での連携会議等

名称	頻度
参加部署等	
検討内容	

【発達障害に関する窓口の周知方法】
乳幼児健診等に声掛け。教育委員会部署からの情報共有。

【発達障害の相談対応】
別室 (保健指導所) での個別での相談、職員2人体制での面談 (記録等)

【災害時支援に関する今後の取り組みや課題】
特にないが、今後学校、保護者との連携が必要になると思われる。

【新型コロナウイルス感染症対策に関する発達障害児の支援】
対象者が少ないので特になし

【高齢期の発達障害児支援に関する取り組みや課題】
特になし

【独自事業や取り組み】
年6回の、作業療法士による訪問、オンライン面談 (保護者、本人、学校向け)

【発達障害児者支援への取り組み状況や課題】
特になし

【幼稚園入園時に発達障害の子どもを把握する取り組み】
<状況>
<把握方法>

【幼稚園】 (令和2年度)

【特別な支援を要する幼児】 (令和2年度)

自閉症・情緒障害児:	人	特別支援学校:	人	通級指導:	人
言語障害児:	人	特別支援学級:	人	通常級のみ:	人
知的障害児:	人	工夫や課題:			

【加配支援員について】 (令和2年度)

配置: (総数) 人
配置数: 人
支援対象園児数: 人
採用基準:
配置基準:

【加配支援員向け研修会について】 (令和2年度)

【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)

児童数: 人
特別支援学校: 人
特別支援学級: 人
工夫や課題:

診断書の提出:
【個別の教育支援計画・指導計画について】

【不登校の児童】
取り組みや課題:

【幼稚園で気になる子の引き継ぎについて】

【小学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み】
<状況>
<把握方法>

【小学校】 (令和2年度)

【特別支援学級】 (令和2年度)

自閉症・情緒障害学級:	人	特別支援学校:	人	通級指導:	人
言語障害学級:	人	特別支援学級:	人	通常級のみ:	人
知的障害学級:	人	工夫や課題:			

【通級指導教室学級総数】 (令和2年度)

自閉症対象:
注意欠陥多動性障害対象:
学習障害対象:
言語障害対象:
情緒障害対象:

【加配支援員等について】 (令和2年度)

配置: (総数) 人
配置数: 校
支援対象児童数: 人
採用基準:
配置基準:

【加配支援員等向け研修会について】 (令和2年度)

【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)

児童数: 人
特別支援学校: 人
特別支援学級: 人
工夫や課題:

診断書の提出:
【個別の教育支援計画・指導計画について】

【不登校の児童】
取り組みや課題:

【小学校で気になる子の引き継ぎについて】

【中学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み】
<状況>
<把握方法>

【中学校】 (令和2年度)

【特別支援学級】 (令和2年度)

自閉症・情緒障害学級:	人	特別支援学校:	人	通級指導:	人
言語障害学級:	人	特別支援学級:	人	通常級のみ:	人
知的障害学級:	人	工夫や課題:			

【通級指導教室学級総数】 (令和2年度)

自閉症対象:
注意欠陥多動性障害対象:
学習障害対象:
言語障害対象:
情緒障害対象:

【加配支援員等について】 (令和2年度)

配置: (総数) 人
配置数: 校
支援対象児童数: 人
採用基準:
配置基準:

【加配支援員等向け研修会について】 (令和2年度)

【就学相談 (就学支援) について】 (令和2年度)

生徒数: 人
特別支援学校: 人
特別支援学級: 人
工夫や課題:

診断書の提出:
【個別の教育支援計画・指導計画について】

【不登校の児童】
取り組みや課題:

【中学校卒業後の引き継ぎについて】

- 高等学校:
- 高校以外の進路先 (就労支援も含む):

【自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について】
研修名/対象/年間回数/形態

【市町村独自で巡回支援】

利用する事業や制度:
対応している職種 (人数):
支援対象となる校種:
支援の対象者と内容:
必要な手続き:

【教育研究所や青少年センター等市町村独自の機関との連携について】

【公立学校以外の通学児童の把握及び支援】

【特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取り組んでいること】

【発達障害に関する高校受験の配慮事例】

高等学校・特別支援学校・就労等

【成人の発達障害者に対する支援】
特になし
【発達障害者の可能性が疑われる (未診断) の方への対応】
家族に対して、聞き取り、呼びかけ等
【就労機関に繋ぐ際の工夫点や課題】
特になし (事例無しの為)